

# 学部長との団体交渉

# 要求書を作成します

同時処理で

# 学長団体交渉の要求書も

人文学部支部は、この1年とくに、人文学部と連携しつつ、続々と大きな成果をあげてきたといえます。無期転換権、安全保障技術研究推進制度に応募させないとりくみ、学長に「授業料を値上げしない」と発言させたことなど、いくつかの一定の前進があります。

一方で、例えば水道水の水質の若干の改善、人文学部校舎改修費用の要求などです。また、組合中央執行委員会を通過して、有期雇用教職員の

## 昨年の交渉の成果

- A 留学・サバティカル等研究条件の充実——「学部で条件整備できれば」  
「そうですか。そのあたり、要望は強いということで考えなくてははいけない。」
- B 「三重大で業績をあげる」なら特任教員の研究予算を——「配慮が足りなかった」  
「特任の先生方がどういう立場にあって、将来的にどういう方向性を描いているかというのは、配慮が足りなかったかもしれない。そこは検討しなければいけない。」「研究費を研究費たるにふさわしく増額する必要がある」との組合側の要求に対する回答。
- C 事務補佐員の無期転換問題——今後の配慮を  
「表に出てこない部分で考えるべきところもあるだろうということですね」との回答
- D 人文校舎の雨漏り・壁からの水の滲透への対策——「研究に支障を来す」  
「施設の概算要求としては、この施設自体がもはや古い、危ない、研究に支障を来す。研究センター路線から方向を変えて、老朽化でこれはひどいという方向で要求を出そうと思っている」との回答。
- E 大学教職員の新規雇用に際して、非正規ではなく安定的な雇用の保障を追求すべき——「原則論はわかる」  
「原則論ですね。それはわかる。今の要望は、「お聞きしました」ということ」このうちAは分担・協力して対応中。Bは引き続き対応を求める事項。Cは全学的な対応との関連で対処必要。Dは予算要求中。Eは学部長のスタンスだけは確認したものの、7月教授会ではさらに否定的な方向へとエスカレートしている。

**支部執行委員会**  
\* 教職員組合人文学部支部の執行委員会を下記の要領で開催いたします。支部組合員はどなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

日時：8月28日(月) 17:00～  
場所：小会議室

紙の用紙にご記入のうえ、提出ください。

さらにその前進のために、学部長との団体交渉の準備を始めます。同時に、学長との団体交渉の申入書作成作業も開始します。別紙の用紙にご記入のうえ、提出ください。



**三重大学教職組人文学部支部執行委員会**  
2017年 8月22日 (火) 第181号  
津市栗真町屋町1577 三重大学人文学部内  
編集・発行人 前田定孝  
E-mail:kff02520@nifty.com

サバティカル等研究条件 8月10日正副学部長・両学科長との懇談記録

# 各学科で意見聴取へ

「個人レベルで恩恵を受けるだけでなく、学科ごとの研究・教育や地域貢献などにつながっていく」

## 学部にとつても実績になる

# 戦略的な位置づけを

「サバティカル、研究休職などを取得しやすくするにはどうすればいいのか」——この間人文学部支部がとりくんでいるこの課題につき、8月10日に正副学部長および文化・法律経済学科長と懇談しました。その模様をお届けします。

## 6カ月単位でまわすと現実味が出る

D 毎年誰かが行くということにするしかない。業務量はすくには減らない。お互いさまの関係にしないと

B 6カ月を目処で回数を増やす。実質的にとれるようにしていくのがいかもあるが難しいという条件はあると思う。だから1年以内とかというのは非常に難しいといつのは感じる。教

員数が減っているの、そこで迷惑をかけてしまうと

## 課題は卒論、非常勤手当……

D 半期であれば対応できる。授業もある程度半期に振り替えることも可能。

F 一般論的に、どこの大

先細りになってしまつ。サバティカルを出しているのは学部にとつて実績。ハー

ドルの1つが、授業担当。コマが多い先生は、半年に固めると行くまでに過労で倒れてしまつ。非常勤1コ

A サバティカルというものも、学部にとつても本人にとつてもプラスだといつのは1つの考え方。サバティ

## どうやったら使いやすい制度に——学科で検討

C 専門の講義は、2年に1回開講すればいい。今、半期単位。資格科目以外は

B あとは卒論指導。学科で最大前期1人後期1人。現実問題として。指導学生

A ただ入試がある。文化

て検証し、合意ができれば。C 今は手を上げやすい環境をどうつくり、整理して提示する必要がある。

D 各学科で合意をつくってはどうか。どの程度カバーしたらいいのか、しょうがないとしてカバーしな

A カリキュラムを含めて、各学科で検討してもらうという方向でいいのか。

F 個人レベルで恩恵を受けるというのではなく、学科ごとの研究・教育や地域貢献などいろんなところにつながっていく。FDでの話し合いも。

C 非常勤の手当などは学部の対応。

E 学部長がいつも旗を振ってくれているという姿が見えないといけない。

D 7月の教授会での紹介を受けて学科で意見聴取するのは可能だと思つ。

# 学部長との交渉および学長との交渉に際して 申し入れたい項目、質問したい項目（意見）

## （１）人文学部での研究条件について

①サバティカルをはじめとする研究条件の向上について

②特任教員の研究等の研究条件について

③教養教育機構との関係

## （２）労働条件について

①賃金・給与について

②この数年間増え続けている有期雇用の特任教員等の雇用のあり方について

③この間増え続けている有期雇用教員の労働条件の処遇改善について

④ 2018年4月1日からの特任教員、非常勤講師および事務補佐員等の有期雇用教職員の無期転換権の行使について

⑤職員の定年延長について、および再雇用後の労働条件について

⑥管理職職員の時間外手当（超過勤務手当）について

### (3) 防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度に応募しない・させないとりくみについて

①今後三重大学にどのようなとりくみが求められるとお考えですか？

②今後、研究倫理の側面からの学内規程づくりが課題になっていくと思われませんが、どのような規定を盛り込んだらよいとお考えですか？

### (4) 学生の勉学・研究条件を保障するとりくみについて

①授業料・奨学金について

③ブラックバイトから学生を守るとりくみについて

### (5) 学内の施設整備について

①水道水について

②研究室等の安全性や居住条件等その他について

③その他ご自由にお書きください（マイナンバー、国立情報学研究所セキュリティ運用連携サービス（NII-SOCS）参加問題等含む）

\*ありがとうございました。